

水源師法話集 4 4

(2015年9月19日 京都合宿2日目)

2016年8月18日
一乗禅の会



エクアドルのクティで飾られた観音様

目次

目次.....	2
水源禅師法話・質疑応答.....	3
日本で誰一人としてお釈迦様の正法の瞑想を教えている人はいない.....	3
法無き故に沢山の若者が死にゆく戦争をストップかけることが出来ない.....	5
真実の法の為に命を捨てた昔の日本.....	7
正義の報告でなく、利益の為に良い事を隠し、不利な事を隠す.....	9
神元を見えなくさせる、檻の中で生きているという無明の世界.....	11
家を空にすれば魔が入る、その家に仏を入れれば魔が出て行く.....	15

水源禪師法話・質疑応答

【水源師】

皆さん、今日も頑張って一日ご苦労様です。こうして皆さんが来てくれるので、私が知っている法を伝授出来る事がとっても幸せです。この法をしっかり受け取って、今度は皆さんが人にお伝えください。頑張ってください。沢山の人を助ける事が出来ますよ。法話なのですけれども、今日は皆さんのリクエストによってお話したいと思いますので、何か皆さんから。何でもあったら遠慮なく質問してください。

日本で誰一人としてお釈迦様の正法の瞑想を教えている人はいない

【参加者】

法話の中で、本当に法を伝える人が日本にもいないとおっしゃられていたのですが、今結構先生方って沢山おられますよね。そういう方は法が伝えられていないのですか？

【水源師】

四念処瞑想行法がどうして日本では、どういう事なのか私もはっきり分からないのだけれども、結局「法を持たずして法を説くという事は、仏を殺すという事を言われていますけど、本当にその通りで、それは父母を殺す事以上の事をするわけですね。何故かと言ったら、父母を殺した場合にはもう完全に地獄に落ちますから、それ以上の事をするという事なわけ。という事はそう軽々しく法を持った風にして人に伝えるという事は、明快に言えば、魔が変身して衣を着て僧侶の格好をしたり、聖者として魔が変身して教えると。もう一つは完全に気が狂って罪のない人まで暗きに一緒に連れて行こうと。

有名な話で、何回も言っているようにアングリマーラのお話をしたでしょう？間違った教えで人を999人まで殺めて、最後お母さんの命を取ろうとした時にお釈迦様が出てストップをした。この人は過去の何かの因縁で非常な高德によってお釈迦様が「この人はアラハトになれる方だ」という事で現れてストップして、殺された方も全身供養という事で良い所に行くのだけれども、今お釈迦様は存在しないですからね。こういう事で、もし人を間違って法を持っていないのに教えたという事になれば、結局教えられた罪のない方々が、アングリマーラの例をとれば、先生に言われた通りにやっているのだけれども、それを救ってくれる先生がお釈迦様以外いないものだから、間違って教えられた人が大変な所に行くわけなのです。真に信じながら行くわけなのです。

と言うのは、近年において日本に発生したオウム真理教の人で、中には本当に真面目で信仰深くて、本当に人の為に法を教えるのだという事を信じ込んで、何でも言われるままに実際に人の命を取ったわけなのですね。今有名な ISIS と言うか、神の教えに従って全身を捧げて、神の為なら何でもすると言って、罪なき人の首を言う事を聞かないからはねるとなれば、またこれも一緒に。結局完全に仏を殺すという事をやっているから、大変な事なわけなのです。

今現在こうしてみても、本の中で経典を読んで解説する人も瞑想をしていないものだから、学術文献をさもこれが本当の法である様に書いて、皆さんがそれを信じ込んで、知識に入れて間違っただけで教えたという事になりますからね。これも大変な事なのです。間違っただけで教えられるこの人達は、将来次の世の中で、結局正しい法を得る事をストップかけられた事になるから。ストップをかけたこの文献を書いてさも知っている様にした人はもう大変な事になります。

昨年、「般若心経の暗号を解読した」と。最初からブツツと抜けていると。一般の人は全然分からないからね。「これでそうなんだ」と信じ込んでしまったら、この人はもう法を得る事が非常に難しい。難しくしたこの人の因果というものは大変な事なわけです。

という事は「法を教えずして法を求めずして、ただ雑務ばかりしていたら大変な事になるのを知っているのですか？」と。乞食になって松の木の下で死んで行ったって僧としてはそれが正道であって、こんな事をしてどんなになるかを知っているのですか？人の為に命を捧げるのが仏法を守る人間なのに、雑務・雑務で商売・商売そんな事ばかりして、こんな恐ろしい事一体どうするのですか？」という事をちょっと言ったわけです。で、又「何処、何処山の何処で習って来たか、私が話を聞いたらこの方が全部でたらめの方法を教えているのですね。

という風に、仏も恐れず大変な事をしているわけですね。人を騙す、仏法の名前を語って人を欺くと。言っているでしょう？慈経で「人を欺く事なかれと。と言う風な、非常に恐ろしい事が流行っているわけで、「色即是空は正しいけど、空即是色は正しくない」と。結局ルーパもナーマ全然観ていないわけなのですね。ただ経典を写して、内容を見たらルーパの音の事を説明しているわけなのですね。「音には重さがあると。結局一番大事な修行方法でどうしてそうなるかは修行者だけが分かるわけなのです。それが抜けているわけなのです。それでこれはカンニングでただ写し替えて、ただ人をびっくりさせる事ばかり言っている。

実際沢山の人が教えてみたけど、誰一人としてお釈迦様の正法の瞑想法を教えている人は未だに日本にいないわけです。という事は、法を掴んで教えたという人には未だに出会っていないし、私が読んで中での、本を読んでも誰一人正解している人は誰一人いなかったです。T大学の肩書き持って何々教授であって、それでもただ本を書いているだけで、瞑想の内容を外しているから結局間違っただけを書いています。という事で、この日本には法「四念処（サチパターナ）、御釈迦様はこの法によってだけ涅槃の道に到達できます、と 経典にあります。」この正法伝える人がいない様に見受けられます。

ヴェダナヌパッサナー（受随観）でも発見した事は、簡単な基礎をはずして教えているものだから、という事も発見して。それもまたびっくりして。今ここで皆さんが本当に受随観を知りたいと。もしこれを完全に伝授できれば非常に私は幸せなわけです。貴方方が今度は先生になって人に教えられますから。沢山の人を助けられます。



法無き故に沢山の若者が死にゆく戦争をストップかけることが出来ない

という事で、本当に今日本では滅法の時代に入ったわけですね。末法ではなく滅法。末法でも良いわけです。まだ法があるから。滅法になれば、法がないという現状が、だからもう何でもありです。嘘八百堂々とさもありませんみたいに、人を惑わす。

結局、集団的自衛権とか言うけれども、これは日本の国を本当に守る為にやっているのか？誰か友達がやられたからそれに加勢に行くと。そしたら必ずや敵を作ってやられるでしょう。その友達が正義の為に立ち上がってやるのだったらそれはまだ理があるけども、日米戦争で沢山の特攻隊を出して殺してその挙句果て、今日本とアメリカが大の仲良し。じゃ、何の為にこの日本の素晴らしい若き者が特攻隊に行って戦って命を落としてお国の為と。最初から戦争しないで仲良くしたら良いでしょう？

またベトナム戦争でアメリカが沢山の若き兵の命を落としたでしょう。ベトナムの方も何百万人の人が殺されたでしょう。今度はベトナムとアメリカが仲良く肩組んで。じゃ何の為に、アメリカの若き素晴らしい青年達が死ななきゃいけないのか？と。これに対して、日本の精神界、メディア、それから放送界、明快に言った人間未だに見当たらない。という事は、滅法の時代。

今年の3月15日にアメリカがロシアに戦争を仕掛けて空中戦でもうバツが落ちるほどに全滅。アリューシャン列島のエリクソンエアベース壊滅。どれだけのアメリカの兵士が死んだか分かりません。一切報道なし。オバマ大統領がその時に、限

定核戦争の為に「ボタンを押せ」と。Four-star Generalのプラット将軍に核攻撃を命令したけど、拒否。それでキャプテンコールにパスワード要求して、キャプテンも拒否。日本のすぐそばで、歯舞色丹のすぐそばです。これで限定核戦争をやった場合には、日本壊滅。というのは、北から南、全部米軍があるでしょう。核も持っているでしょう？日本の人は知らないようですが。

【参加者】

噂では、沖縄に米軍の核があるっていう・・・。

【水源師】

噂ではなく、持っていますよ。日本では誰が調べるのですか？日本には指揮権何もないのですから。「基地に入るな」って言ったら、「はい、そうです」「ないです」「はい、そうです」。それだけでしょ。実際には、岩国に行ってご覧なさい。放射能でやられてもう老人の顔が真っ黒に、なっていると聞きました。この放射能は何処から出て来ますか？核ペレットと言うか、そういう危ないものが空中でウヨウヨしているし。又非核三原則、持たない・入れないとか言っているけど、もうその時に完全に嘘をついて幾らでも入れて。で、又日本では発電の為に電力会社が原発を作って、幸せの為に核の平和利用と言うけれど、これは核弾頭の製造機なのですね。だから日本全国がね、核の製造機工場なわけです。原爆の製造工場が日本。こういう風なWestinghouseまたはGEの核方式ではなくてもね、とっくの昔に非常に素晴らしい原爆が作れない、非常に安上がりな自然の燃料を燃やせる方式があるのだけれども、アメリカで1970年代に全部潰したわけです。フロア原発、トリウム原発、それは今中国とインドが世界最高峰で、実はその昔アメリカが開発を完全に成功しているわけです。もし日本の政府が本当に日本の国民の事を考えて、原発が必要だったら、1970年代にもうスタートしてもう完成させているはず。こういう核爆弾を作る原爆製造機の原発がなくても。と言う風に、こういう事を誰一人指摘しない。メディアも言わない。これは何も秘密ではなく、英文で見れば幾らでも検索出来ます。

という事は、日本では英語を難しく教えているから、一般の人は小学校、中学校、高校、大学と何の英語を教わっているのか？という事になります。こういう状態で、宗教を勉強する為に、外国に行ってミャンマーとかいろんな所に行くけれども、本当に英語を分かって法を得る為に、ちゃんと英語を理解して行ったのか？と。英語といっても、千差万別の英語でね、その国独特の言い回しがあって、オーストラリアの人はアメリカンイングリッシュが分からないのです。アメリカの人はオーストラリア英語が分からないのです。分からないから「What?」と言うわけ。非常に特殊な発音で、「Good day ゴートダイとか「Good bye ゴートベとか、それがそういう風にしか聞こえないけど、全く別の意味で言っているわけです。アイリッシュイングリッシュも特別な発音でね。特にさっき言った様に、ミャンマーは非常に難しい英語を使うわけです。100年前のBritish India英語で、彼ら独特の英語で話すわけ。私が45年間カナダにいるけども、私でも何を言っているか分からないわけです。それで私がイギリスの医学部の教授に「彼、一体何を言っているの？」と。「実は、こうこうこういう事なのだよ」と。こういう事で、本当にミャンマーで法を教えられて、一体誰の通訳でどういう風にして教わったかという事が不思議なことです。私が直接英語で教えられてもこれくらい苦労するのだから。ましてや、日本語が分

かる人が通訳したにしても、そういう人が完全に法を通過したなら別だけど、誤解が発生すると思います。

だから昨日言った様に、皆さんに「日本はどうですか？」と。ただ一つ「日本は風前の灯ですと。いつフツとやられるか分からない。だからここで法を持てば違いますよと。法を持てば仏神の加護によって、危機一髪な時でもアメリカの將軍とかキャプテンが拒否します。この人達は今逮捕されて幽閉されています。特にジョージブッシュシニアがイラク戦争に行って、戦死したのは143名という事だけでも、退役軍人会の2007年の報告では、7万3千人の米兵が死んでいます。第二次イラク戦争では6万3千人。こういう事は、大手メディアが正確に言わなきゃだめでしょう？イラク第一次・第二次大戦で誰も死んだ兵隊がない様に書かれているけども、アメリカ自体がもう十何万人の若き兵士が死んでいるわけですよ。それに負傷者としたらその十倍。百万人以上の若き兵士がもうおかしくなっているわけ。

今、集团的自衛権と言って後方支援で行くと言うけれど、戦争になれば先頭部隊も後方支援もないわけ。後ろから横から全部やられるわけ。ベトナムでビッグエーワン (BIG A ONE) というアメリカ最大の最強の陸軍が二万四千のアムラーダ (旅団) で攻めて行った時に、忘れたけれど大変な激戦の南ベトナム北ベトナムのダナン国境の、何と言ったかな？何とかの戦いで、二万二千人壊滅して、逃げたのは将校、将校連中。戦場に残ったのは新兵とか一般の兵隊達。それでその後全部陥落して、アメリカが空母でみんな引き連れて逃げて行ったわけです。もうだから今日本はね、これだけ長きに渡って平和中立出来たのに、今やろうとする事は正気ではないとしか思えないですね。つまり法なき故に誰もこれをストップかける事が出来ないわけです。昔言葉の一億総白痴が横切ります。

真実の法の為に命を捨てた昔の日本

結局昔から日本では法の為に命まで捨てるわけなのです。本当の真実の為に命まで捨てるわけなのです。と言うのは個人的な信仰にしろ。その昔、阿弥陀を信仰していてね、親鸞聖人の遺影というかそういうお堂があつてね、それを預けたと。それを「返してくれと言ったけど、返して貰えないと。と言うのは、沢山の浄土宗の人がお金をどんどん投げるし、寺は繁栄するから「そういうものは返したくない」と。非情な無理難題を言ったわけ。「生首二つ持って来たら返します。うちにも生首二つが必要なのです」と。それを聞いた普通の阿弥陀信仰の人が「よし」と。息子に「私の首を切れ。これを持って行きなさい」と。「それでお前の首を差し出さなさい」と。と言うのは、お父さんは「自分の首を切って捧げたいけど、誰もいないし困ったなあ」と。そしたら息子さんが「私の首も差し上げます」と。それでお父さんがそう言ったわけ。そうしたらね、息子が親を殺したら大変な事になるから、「私がお前の首を討ち取ると。持って行って、「はいどうぞ。私の息子の首と私の生首二つでどうぞ親鸞聖人の遺影の木造を返してあげて下さい」と言ったわけ。という風に、法を守る為にはそういう事までするわけ。信心の法の為に。

今はそういう風な事はおかしい話になってしまうようです。その昔私が言った様に、島津の三女と言うか？阿弥陀に帰依して、島津ではそういう事をしたらご法度で打ち罪になると。それでも行って、「どうぞ私は阿弥陀の為に命を落とします。

と。これが本当の正法で死という事はないし、すぐに良い所に転生するわけですよ。ところが悪に負けて、「はい、何でもあり。もう日本の国民を殺して宜しい。

他国の人も殺しても宜しい」。この人達はもう完全に暗きに行きとしか思えないですよ。特に黙って何もしない人まで行ってしまふ。と言う事は「そういう地獄もないし、天国もないし、あるのはただ生きている一瞬の快樂だけで全て妄想だ」と。とんでもない事です。と言う事を正々堂々と得に仏法を持っている人は体験して言わなきゃいけないのに、言えないと。どこの国でも経営、経営で、仏法をしているのか？商売をしているのか？人の為に死ぬ為に法をやろうとしているのか？心はそうだけど、やる事は180度違うわけですよ。

法僧界がやられれば国が潰れます。その昔、カメール王朝（カンボジア）がやられた時は、まずフランスが来て、お坊さんを皆殺したわけです。頭を取ってしまうからね、後はもう自由自在に体を動かすと。と言う風に如何に法をしっかり持つという事は、その国のその地方の人を生かすか、また他国の人も生かすかという事なのです。キングアショカ大王の様に戦争はしないで、「この平和の叡智で行きましょう」という事になるわけです。だからインドが侵略した事もないし、中国もよその国に向かって侵略した事はないと言っています。何故かと言ったら、その二つの大国はもう歴史上分かるわけですよ。どれだけその国に対して、非常に悪い因縁を起こすかと。

この日本が守られているのは、日本の善良な仏法を信仰する人の心の為に仏神たちが守っているのですよ。あなた方がこの日本を救っているわけです。あなた方が今本当の法を得ようとするこの心によって天界はこの日本を守っている。もし、あなた方が一人でも私の目の前に現れなかったら、大変な事になります。ただ、あなた方が最後の日本の希望なわけなのです。だからこの10日間においてあなた方がね、私から受随観、レディーセヤドーがその昔教えて、ミャンマーでも絶えましたがでも、また返り咲きました。で、ここであなた方がこの法をしっかり受け取れば、本当に最後まで行きます。ズーッと涅槃の手前まで。アラハットにはなれませんがアナガミの道が開けます。ただサティパッターナ四念処だけでしか、涅槃に到達しませんとお釈迦様が言った正法なのです。その中の一つが受随観で本当にその通りに到達できます。言葉ではなく、私が伝授してその人がびっくりしてしまっただけくらい。「こういう方法があったのか」と。もうその人はミャンマーで最高の位におられますけどね。パオ・セヤドーより特別な称号まで貰っています。何故かと言ったら、法随観を完全にマスターしたからすぐに到達します。

だから、ここでそんなに難しい事ではないからね、基本をしっかり覚えたら後は私の言う様にやれば一年以内に相当な所まで行きますし、そしてあなた方が沢山の人の人々に教えられて、又沢山の人の人を救済出来ます。心も身体も。ま、こういう事で回答良いですか？

正義の報告でなく、利益の為に良い事を隠し、不利な事を隠す

【参加者】

チベットの方で、最近お坊さんが焼身自殺される方が沢山おられるみたいなのですが、そういうのは何かその方が死んで証明するみたいなの・・・。

【水源師】

私はちょっと数年前到北京に行ったのですが、チベットのお坊さんは今でも権利があるのですよ。チベットのお寺に入って、そしてそこでお布施を受けるという。入場料金は中国政府が貰って入るようでした。そしてそこで私がチベットのお坊さんが英語で言うのを聞いていたら、非常に過激的でしたね。「そういう教えはお釈迦様の法にありませんと。それで激しく問答やり取りしました。こういう人達が間違った思想を言うわけなのですよ。仏法において本当に正しくなくて焼身自殺した場合には、この人は逆に暗きに落ちて行きます。教えた人ももちろん行くけれども。これが現状で。ダライラマさんに私が会った時の彼の講義と今やっている事とは話が違います。私も十数年前にバラナーシのチベット大学の教授に「もうこういう事をやめて早く仲良くしてください。」とお願いしました。またダマラーサの若き青年会長に「もうこういう事をやめて国に帰って仲良くしてくださいお願いします。」

と言う風に懇々と説明したのですよ。その後、英国で在留しているダライラマ様のお姉さんとお兄さんを中国政府に送って、いろいろな会合を開いて協議したのでしょうか、新聞に出ていました。それがもの別れになって実現しなかったけれども。西洋がこの事をあおるわけなのですよ。結局ダライラマ様が若い時に、あおられて中国政府に武力で対抗したのだけれども、そのあおった人はアメリカのCIAがお坊さんになっておったわけです。そういう人が正式にトロントの新聞に発表していました。と言う風に世界の手メディアニュースは、もはや本当の事を伝えるのではなく、一方的な正義の報告ではなく結局利益の為にどんな報道でもしようとする。良い事を隠し、不利な事を隠すという風紀になっているようです。

今の世界で、ウクライナで国内市民戦争をしていますが、戦争をする事はひとつもないわけです。という事でそこからヨーロッパがもう一回崩壊、あわよくばロシアと戦争に持っていくと。東はこの日本が戦場なのです。Soft war といってね、天候を変える、地震を起こす、お金、Internet War、そうでしょう？ハッカー。すぐそばで、アリューシャン列島で戦闘起こったでしょう？

だから私が昨日言ったのは、「日本の現状は風前の灯だ」と。この事態すら分からないわけです。これはね、昔ブッシュ政権の時、ラムズウェイという国防長官が「二極戦闘は可能だと。「離れた所を同時に攻めあげる事は可能だと。この事なのです、二極。西と東、二極。と言う事を日本では詳しく言わないわけなのです。報道する事柄は美味しい物を食べて、健康を守って、旅をして。それが、最高の人生であると。核が空中で爆発したら、一瞬でおしまいでしょう？本当に核戦争やろうとしたのだから。南シナ海は日本には関係ない場所でしょう？それが大手メディアは、ワンサワンサとアメリカの報道ばかりしていますが、以前のアメリカの報道では中国領内であると言っていました。それで中国が国内の自分の島に滑走路を作るとアメリカはアメリカ本土にとってとても危険な問題であると言っています。それはその他国間の問題であって、その国とフィリピンの問題であって、アメリカは入る余地がないわけですね、でもベトナムにも入って行くわけですね。結局、権利を失いたくないと、世界を牛耳る権利。だから日本も一緒に行って、あわよくば

そのおこぼれを貰うと。何と情けない事なのか。これだけの素晴らしい文化と叡智を誇る日本が。

京都の伽藍も見てください。京都の街並みとか日本のありとあらゆる所の街並みを見てください。世界にあんまりないのです。綺麗で美しくて又非常に沢山の善良な方々が一生懸命真面目に生きて。政府がこういう人達を守るのが本当でしょうか？正道でしょうか？

それを真逆の事をやって、教育と言っても1920年代のプリンストン大学に如何に人間をコントロールするかという教育教典があって、そのコピーで全世界を動かしているものだから、日本も全くその通りにやっているから、精神的に完全にロボット人間を作る。日本は日本で独自の人材学校とか。昔、藩校でいっぱい良い教育をやったわけですよ。ところが今は〇×式のエリート主義、と言うかエリートではなく、血も涙もなく超人間ロボットを作る教育をやっているわけです。金だけが神様であるであるみたいな行動で、人道無視と。それが今の教育の実態であるわけなのですよ。その〇×の教育ゲームに負けた者はもういじめられるし、頭が悪いと。〇×ゲームで、全部回答してゲームに勝った者はなかなか頭がよろしいという勲章を付けられるけども、それが本当の勉強であるかないかが問題であってね、そういうゲームで勝ったから偉い、負けたから悪いと。これも全部デタラメの話。皆さんが一生自下して私は頭が悪いのかな？と。私も昔はうどうせ頭が悪いからあきらめて遊んでいたけど（笑）。

そういう風に今見たら本当に滅法の時代が訪れているわけですがけれども、ただここで皆さんが本当に法を持てば、まあ末法から弘法の時代になるかもわかりません。今は、正法500年、弘法500年、それから戒律500年、布施500年、そして経典が500年。で2, 500年が終わり、今又正法500年の、ヴィパッサナー、サマタの時代に入ったようです。これが第二回目の仏法時間帯に入ったと言っています。だからあなた方がしっかりすれば、第二の正法がまた返り咲くわけです。滅法にするか正法にするかはあなた方自身の決意によるわけですね。もしこの法を少しでも得る事が出来たら、この日本全土の富よりも、この全地球の富よりも大きいご褒美が来ます。

だから、御釈迦様が法華経で言ったわけなのですね。その子供が大きな屋敷で遊んで、家が燃える中で長者が「おいおい、そこから出てきたら何でもあげるよ、おもちやもあげるよ、もうこの世にもないご褒美をあげるから出ておいで」というのが正法な訳で、この事な訳なのです。そのご褒美というのは大変に大きなものなのです。滅多に出会えないものなのです。宇宙には滅多に咲かない法華の花なわけです。法華の花と言うのは、結局昨日も言った様に般若心経がその解説であり、ダンマヌパッサナー（法随観）というのがそのものであり、それが観音様の事であるのです。だから百済観音の島に行って観たら、観音様は非常にでっかくなっているけども、その中で観音様は山にもなり家にもなり、ありとあらゆる御姿に変わっているのが観音様です。人間の姿だけではありません。だからもちろん法そのものにも変身して人を救おうと言うのが観音様です。ま、どうでしょうか？いや私も皆さんを「ワハハハハ」と笑わせたいけど、いつも深刻な話でごめんなさいね（笑）。



神元を見えなくさせる、檻の中で生きているという無明の世界

【参加者】

世界にはミャンマーとか、仏法がちゃんと残っている国って言うのはあるわけですよね？

【水源師】

あります。

【参加者】

日本は滅法の時代に入ったけれども、他の国はまだ残っていると言う事で良いわけですか？

【水源師】

そうです。その種を貰って正法を返り咲かせる事が出来るわけです。死に絶えてはいないわけです。だから日本の人が一生懸命法を学ぼうとしてありとあらゆる瞑

想をやっているのはこの事であって。ところが本当の正法を教える人が日本にいないわけですよ。持って来た人がいないわけですよ。来ても言語関係で法を伝える事が出来ないわけですよ。パオ・セヤドーが来ても、その正法の種を植える事が出来なかったわけですよ。と言うのは、言語の関係で何を意味するか究極の所が分からないわけですよ。ドラマ様も何回も来て説法をするけども、言語の関係で彼が言わんとする事が詳しく伝わらないわけですよ。つまり一番大事な事は、法を伝える事はその国の人の言葉で話さなければ法が伝わらない様になっているわけですよ。それを「言霊と言います。「言霊と言うのは、神の言葉で話すという事なのです。何故神の言葉で話すかと言えば、仏性と言うのは神の元なりと言います。だから皆さんに仏性があるから、神の根源が心にあるわけですよ。それを仏性と言うか神と言うか。それでセント・クロス・オブ・ファイア-という素晴らしいスペインの聖者が「Long long time ago, God dwells in the WORD」と。つまり、「神はあなたの言葉の中に宿る」と。この事なのです。西洋では神と言うけど、私たちは仏性と言います。それを漢字で書けば、神元と言います。神の元なりと。

【参加者】

全ては同じものだったのですね。

【水源師】

そうです。それを見せない様にするのが、結局人をコントロール出来るわけですよ。一緒になったら困るわけなのです。だからありとあらゆる正しい知識を隠すわけですよ。で、分からない様にするわけですよ。

【参加者】

それが魔というものですか？

【水源師】

もちろん、それは魔行？というか、そういう事をする人達は完全に宇宙の叡智に向かう代わりに人を罠にかけて苦しめると。これは魔以外の何物でもないわけですよ。

正しき善き生命体は人が幸せになれば喜ぶと、それを私達は聖者と言います。その逆をやる人は魔であると。

【参加者】

無明だからそうしちゃうわけですか？

【水源師】

無明にさせるわけですよ。誰もが光明を得たいけれど、無明の世界を作って無明の状態に置くから無明になるわけですよ。それが無明であるという事を示した時に光明に転換するわけですよ。たった一つのマッチを「パッ」と真っ暗な部屋でつけるでしょう？一瞬にして光が発生して、「あら！ここに泥棒がいた！」ってすぐ分かるわけですよ。たった一つのマッチで良いわけですよ。

だから皆さんは全て光明を持っていますけれども、真っ暗な部屋に置かれた様な状態という事。大手メディアがコントロール。本当の事は学校に行っても教えて貰えないと。何故かと言ったら、皆さん相当長い事英語勉強しているはずですよ。カ

ナダではね、外国から移住した、掃除夫でも立派に英語を話すのです。外国語の人が来てすぐに英語で話し始めます。英語はそんなに難しい事じゃないわけです。それを非常に難しく、難しくするのが、これがまた罠なわけです。

真実は明快で簡単だけでも、そうしたら丁度マッチで真っ暗な部屋を照らす様に、何もトリックが出来ないわけです。だから窓を覆い、ドアもカーテンで仕切り、真っ暗闇の所に皆さんを置いておくわけです。それで自由にコントロールするわけです。

商売の仕事をしなければいけないから、死ぬ前に何かすると。それが本当にその情報が正しくて、次世代に渡るものの情報なのか、それがただ大手メディアとかそういう間違っただけの情報を次世代に送ったって、役立たなきゃ何もならないでしょう？いくら根を詰めて書いても、それが本当に役立たなきゃ意味ないでしょう？

という事は、私は非常に素晴らしい情報を貰ったのだけでも、A大学で三蔵法師の般若心経の訳と鳩摩羅什の訳が書かれて。また非常に難しい経典があるわけですよ。何だったかな？心の修行法。これは使えない。体験ではなく本の書き写しで書いている、もはや分かっていないようです。漢文でありましたが、すぐ分かりました。そういう経典がこんなに沢山、山と積まれてそれを読んだって、体験の叡智を得るのは至難の業だと思います。その人は信じて書いているけれども、それを解説する人間も手法も分からないから役立たないわけです。それよりは達磨大師が命を懸けてインドより中国にきて、本当の心伝印の正法を教える方がまだ早いわけです。だからお釈迦様は経典を残すな、書くなと。実体験でしか教えてはいけないという事を言っているわけです。経典に書けばね、文字が人の上に立ちますからね。「法の上に人なき」と言うけれども。その法を書いたのは神ではなく人間なわけですよ。その法を読み解く人も人間なわけですよ。だから何でもありが発生します。

と言うのが今全世界の茶番劇やっているわけです。だから「いち早くこの悪世より抜けて広大無辺な叡智の世界に来て下さい」とお釈迦様が言っているわけです。「生死を越えて永遠不滅の素晴らしい大浄土がありますから来て下さい」と言うわけ。いつまでも犬が大きい柱の中の隙間のない所で「出たい、出たい」と言いながら、グルグルグルグル。「輪廻で回る事はない。早く出て来なさい」と。「ドアはここですよ」と。でも出るのが怖いわけなのですよ。そういう中で暮らしていたら、一つでも違う社会に行くのがもう魔の世界に入る様に怖いわけです。なかなか出られないわけです。私もウサギさんを家の中で飼っていてね、今度広い所に出したら、恐怖におののいてびっくりして死にそうになるわけです。その後で「あぁ緑の草はある。匂いは良い」と、もうそこでポンポン跳ねてもう帰って来れないわけです。ところが、そういう素晴らしい所に「はい、お前ちょっと広い所で遊びなさい」と言っても、家の檻の中で育てたものだから、分からないから恐怖におののいて逃げ出すわけ。行きたくない、殺されるのではないかと。と言う風な、だから結局私達も輪廻の中で檻の中でグルグルグルグル回っていたらね、「もう出たらどうなるのだろうか？ここに居た方がまだ安全だ」とかそういう風にしか心が動かないわけです。それがね、一つの人生、百千万億劫そういう中で入っているから。億千万劫難遭遇と、本当にそうなのですよ。もう出られないわけですよ。そうすればドアを開けて見る事すら恐ろしいですよ。この中だけこの家の部屋の中だけが全世界だから。と言う風な扉を開けてくれたお釈迦様が「おいでおいでと。凄い大世界があるから、こういう暗き恐ろしい世界から早く出なさい」と言うのが仏の教えである訳で、それ

を長者の家宅が焼ける中で子供達に「おいで、おいで」という事なわけです。だから法を持つという事は、一国の日本、この地球以上のご褒美が来るという事です。

我も彼もなき、皆ひとつなり

また今日も本当はあんまり深刻な話をしたくないけど（笑）。いつもこんな深刻な話でごめんなさいね。でも、法を持ては本当にこういう風な素晴らしいご褒美が貰えるのですから、また沢山の人も救えるわけなのですよ。これほど素晴らしい事はないじゃないですか。だから私が何の因縁か海外に出て英語圏に行って。こう私の点を辿って行けば「まさに我この為に生きて来た」としか言えませんね。何故かと言ったら、私は小学校、中学校、高校と素晴らしい方々と一緒に遊んでね、弘前の幼馴染に電話して「おう、すぐに飛んで来い！」と。「今同窓会があるからどうしても顔を出してくれ」と。「それは出来ない。今は合宿をやってこうやっている」と。「もう60何名来るからすぐ来てくれ」と。そういう事で、そうして素晴らしい幼馴染がね、ただ愛だけなのです。ただそれを又欧米の手に乗って「お前は誰々でそこだ、私はこれだ」と巧みに喧嘩させるわけなのです。Divided Controlという古代ローマ帝国がやった事をやるわけなのです。だから、私がこうして善良な仏法を守るこの国の方々の為に生まれて来たという事が分かって、今こうしてあの法を伝える事が出来る凄い栄光を受けているわけです。私の田舎の方は裕福な県ではないから、だからね、良い職についても退職したら、お金が思ったよりないですよ。私は若き日に日本を出て、こうして自由自在に飛び回っているから、「一体お前は何処からそんなお金が出て来るのだ？」という風に想像を絶するわけです。と言う風に凄い栄光を受けているわけなのです。

こういう「我も彼もなき、皆ひとつなり」と。ただ迷いによって「彼は彼なり、我は我なり、彼は悪しきものなり」となるわけ。これが又仏法から遠く離れてしまうわけ。「一切一中。一また、全てであると。確か「一切一中、一中一切。この法門は空を越えた遠い所にあります。実はあなた一つの心は全ての心なのです。全ての心はあなたの心。だから「彼なき、我なき、ひとつなり」と。仏法ではこれを観る事が出来ます。だから戦いは悪であるからやめなさいと。昨日言った様に。全ての戦いは悪なり。魔に変身させるわけです。まるで「彼は、彼なり。我は我、なり。

みたいに、又そういう風にしか見えないし、又そういう風な社会に、そういう風な仕組みで動かされているわけです。

以前の北米インディアンの方々は土地所有権という観念がないわけです。土地はあなたの私のもの、広大な高原を皆さん自由に共同で使うわけ。ただ西洋から来て「この土地はあなたのもの、私のものと言う風にサインしたおかげで、インディアンは全ての領土を失ってしまった。所有権の観念が無かったからそのようになったと、言われています。と言うこういう悪法の中で生きているわけなのです。北米インディアンのそういう生き方は実際正解なのです。何故かと言ったら、究極の世界は「一切一中、一中一切なわけ。心はそうなっています。ですから因果関係でね、「私は良い思いした。これで良い」と。それで終わりませんと。必ず一の中でやって中に含まれるから逃げ切れませんという事。と言う事を因果関係でちゃんと観なければいけないわけです。過去生から、来世から、心から、究極の心は、物質はどうなっているか？という素晴らしい法門を經典にあるけども、それを実際にどうかという事観る事をしないから迷いの中で生きていきます、難しい勉強は誰でも

嫌いですがね。私も寝るのが大好きでランドセルほったらかして食べて寝て遊んでいました。でもね、私みたいな者でも僧になれば、それは言い訳が聞きません。勉強せざるを得ないと。その為にこれを着ているわけです。衣を着てそして体験して、そして素晴らしいご褒美を皆さんに分けなさいいけないわけなのですよ。ただそれをキンキラキラキラで飾って「ああ素晴らしい」と。人から沢山の布施を貰って御殿を作って。それをいくら見たって皆さん救われたいですよ。そういう金があればね、福島の人達に家を建ててあげる。孤独老人の為にちゃんと世話してあげる。そういう金があれば、一日一回誰にでも昼食をただで食べさせると。実際それはシンガポールのお寺でやっているわけです。そのお寺に昼に行けば誰でもただで食べられます。そこには2000人のボランティアがいて、いつでも食事を作っています。お金を取るのではなく、いかに布施するかという事ばかり考えています。正法はそうなのです。

家を空にすれば魔が入る、その家に仏を入れれば魔が出て行く

正しい正法を持てばそういう事が実現出来ますけども、魔に負けてしまえば、今の惨たんたる状態に行くか、また正法に戻すかと。戦いではないのです。法を受け取れば、もう魔が消えざるを得ないのです。居る場所が無くなります。そういう法に出会えば魔が変身して良き人になるかもしれません。そういう事をお釈迦様は経典で、沢山の事例で示したはずですよ。

だからあなた方は、悪人でさえ救う事が出来るわけですよ。悪人だと言って殺す事ではなく救う事が出来るわけです。それを蓮如上人が「善人を救えるからましてや悪人も救える」という事は、「私は良い事をして良い人だ」と心が真っ黒、なわけです。こういう真っ黒心でも救える法がありますと御釈迦様が言われています。「私は悪人だ、悪人だ」という人はもう悪を見ているから心は清い方向に向かっているわけなのです。だから仏法は全てを救えますと。他力も自力もなし。実は宗派も無いのです。全てが一体化しています。ただそれを何派・何宗と言う風に都合の良い様に魔によって分断されています。私の旅を見たら実は種を解き明かせば全て一体化になっていたわけです。私達は無明のなかで生きているわけです。どうでしょうか？

【参加者】

はい。

【水源師】

証人がちゃんといます。だからどの宗派でも良いわけですよ。そこには仏法があるから。ただそこで本当の事を教えて貰えないという魔の罠があるだけであって。どの宗派においても本当の正法でちゃんと勉強すれば魔が出て行きます。それを六祖大師慧能様がこう言いました。「家を空にすれば魔が入る。その家に仏を入れれば魔が出て行くと。つまり心に法を入れれば魔が出て行きます、心に法を入れなければ魔が入ってきますと。その事です。

法というのは難しい事じゃないです。本当の事を体で知るといのが法なのです。実に明快な事です。それを本当の事を頭で分かったとなれば、これはもう完全に魔にやられているという事。本に書いてある事を体で体得した時には、もう正法を得た

と。本当の事を頭だけで得たとなれば、これはもう魔にやられていると。正法それは実に簡単な事。美味しい果物を食べて「ああ美味しい」と。魔にやられたらね、この果物を本で見るだけで「美味しいな」と満足しているわけです。これは狂っているわけです（笑）。それを皆さんやっているわけです。食べないでもう全て味が分かるというくらい狂っているわけです。いくら美味しいりんごでも、ただ見ただけで「ああ美味しいな」と。そう言ったらこの人狂っているよ。ところが美味しいりんごをパッキリかじって「ああ美味しいなあ」ってニッコリ皆さん笑っている、これが正法です。ところがね、今はもうおかしな世の中で「ああ柿がある。美味しいなあ、何と素晴らしい味だろう」と見ただけでみんな分かるわけですね（笑）。「あらまあマンゴー、何て美味しいのでしょうか」見ただけで味が分かるわけ。もう考えただけで頭に味が分かるわけなのです。これはとてもオカシイことです。だから法というのは、体で知るといふ事なのです。

そういう事でどうでしょう。今日もまた深刻なのか、お笑いなのか（笑）。



水源禪師法話集 4 4
(2015年9月19日 京都合宿2日目)

2016年8月18日 発行

編集兼発行 一乗禅の会